

つみきのくらし

NO. 46

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

ほし組クッキングから

ほし組で子どもたちの「たこ焼きを作りたいね」という話題から話し合いが始まり、自分たちが出来そうな「たこやき」っぽいもの→「ホットケーキたこやき」を作ることになりました。今回は、『必要な材料は何か』・『どのくらい入れるのか』等といった子どもたちのイメージの共有から始まったたこ焼きストーリーをご紹介します。

①作り方を考える

必要なものやどんな工程で作るか、意見を出してあいました。



②卵を割る

力の加減が難しい“卵を割る作業”もきれいに割ることが出来ました。



③計量する

200mlぴったりになるよう、二人で声をかけあい慎重に牛乳を量ってくれました。おいしく作りたい思いが感じられました！



④粉を入れる

こぼさないように丁寧に少しずつ粉を入れています。



⑥生地を流し入れる

自分たちが作った生地が変化していく様子を興味津々で見えていました。



⑤材料を混ぜ合わせる

順番に混ぜました。
「おいしくな～れ、おいしくな～れ」



⑦焼く、形を整える

たこ焼きを作るようにくると竹串で転がします。



⑧食べる！

自分たちで作ったホットケーキたこ焼きがどんな味になったかみんなで食べてみました。



【結果】＜【過程】の大切さ

どのような活動でも満足するための結果を得るには、それまでの準備や取り組み方がポイントなのかと思います。今回ほし組は、みんなで「たこ焼きみたいなホットケーキ」のイメージを共有しながら、真剣なまなざしで一つ一つの工程を丁寧に丁寧に取り組んでいました。形が変わったり、焼き上がりのにおいにワクワクしたり、丸くなっていく様子を面白がるなど、子どもたちの興味関心はずっと続いていました。もちろん食べてみて気づいたことも含めて子どもたちの五感を使った学びにつながっていきます。このような体験や、遊び、行事等が子ども達にとっての成長や学びの糧となるよう、これからも過程を大切にしていきます。